

こどもの国で

遊ぼう！
作ろう！
学ぼう！

開催！

敦賀市児童館フェスタ 2024 ～秋のつどい～

日 10月6日(日) 9:30～15:00

こどもの国、敦賀児童館、松原児童館の3館合同で開催します。



こどもの国は、各種行事・陶芸体験・プラネタリウムなどの集いや学びを通して文化に親しみ、児童の健全な遊びの場として、長年にわたり親しまれている施設です。

【施設の利用案内】

■ 開館時間 9:00～17:00

※ 11月～3月は16:30まで

■ 休館日

月曜日、国民の祝日の翌日、
年末年始（12月29日～1月3日）

■ 問い合わせ ☎ 25-7879 ☎ 25-7877

✉ kodomo@ton21.ne.jp



▲市HP

施設の概要

- ・ロビーや各部屋には遊具があり、自由に遊べます。
- ・遊戯室では、卓球やバドミントン、マルチトレーナーなどで体を動かすことができます。
- ・図書室は、読書や学習の場として利用できます。
- ・各行事やプラネタリウムは、こどもの国HPや広報つるが、敦賀子育て支援サイト「KOSODATE TSURUGA」などでお知らせします。



■ 四季の行事
■ 月ごとの行事
■ クラブ活動



■ 児童遊園



■ 家族陶芸教室
■ 陶芸のへや
■ 陶芸サークル



■ 幼児室
■ 遊戯室
■ 図書室



プラネタリウム
■ 一般・特別投映
■ 天体観望会

リニューアル事業を進めています！

松をモチーフにしたシンボルツリーの設置を予定しているエントランスと、アトム ASOBO ランドを中心にリニューアルを計画しており、令和8年度春頃の完成を予定しています。
詳細は市HPをご確認ください！



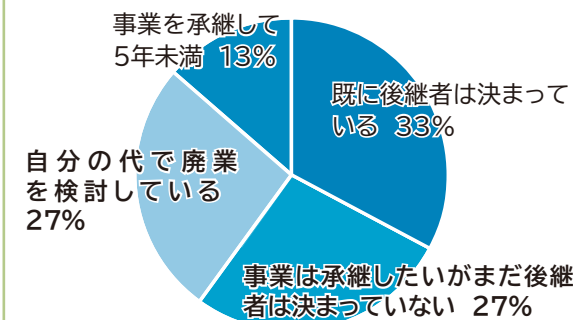
問い合わせ先 こどもの国 ☎ 25-7879

次世代へつなぐ

事業承継を考える

技術 想い

令和4年度 敦賀商工会議所 実施
「事業承継に関するアンケート調査」のとりまとめ



日本の企業の総数は約360万社あると言われ、その9割以上を中小企業が占めています。中小企業は、雇用や技術の担い手として日本を支える重要な存在です。将来にわたってその活力を維持し、発展していくため、中小企業の事業承継は日本社会にとって重要な取り組みです。

しかし、今、中小企業の後継者不在の状況が深刻であり、廃業の増加による貴重な雇用や技術への影響が懸念されています。

令和4年に敦賀商工会議所が実施したアンケート調査では、「後継者がいない」「自分の代で事業の廃業を検討している」の回答が、50%以上を占めています。

福井県事業承継・引継ぎ支援センター をご利用ください！

公的相談窓口である福井県事業承継・引継ぎ支援センターが、中小企業の円滑な事業承継を支援しています。事業を承継するには、技術だけでなく、経営ノウハウや取引業者とのつながりも引き継ぐ必要があります。そのために、5年から10年かかることも珍しくありません。県内で親族内承継、従業員承継、第三者承継など多くの支援実績があるセンターであり、相談無料・秘密厳守・完全個別で対応しています。

嶺南エリアの担当者もいます。事前予約で嶺南サテライトオフィス（アクアトム2階）で相談可能です。

福井県事業承継・引継ぎ支援センター

場 福井市西木田2丁目8-1

福井商工会議所ビル8階

☎ 0776-33-8279

✉ info@fukui-shoukei.jp



市内事業承継事例の紹介

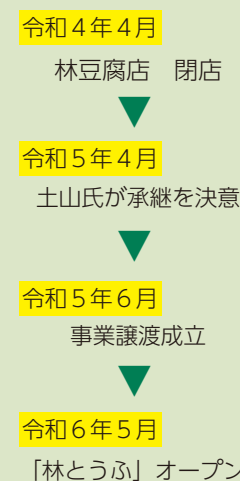
市民に愛されてきた豆腐を残したい

元町にある「林豆腐店」が事業承継を行い、「林とうふ」として営業を再開しています。
「林豆腐店」（前店主：林範夫氏）は、後継者不在などの理由で令和4年に一度閉店しましたが、林氏への恩返しと、「市民に愛されてきた豆腐を残したい」という想いから、甥の土山良太氏が、事業承継を決意しました。

土山氏は、福井県事業承継・引継ぎ支援センターの支援を受けながら事業譲渡契約の締結や、事業承継の補助金を活用した設備を更新するなど、昔からの味の承継に向けて準備を進めました。
令和6年5月、「林とうふ」に改名し開店。林範夫氏のサポートを受けながら、頑張っています。



事業承継までのプロセス



問い合わせ先 商工貿易振興課 ☎ 22-8122